

2018年（平成30年）7月18日

## 「平成30年7月豪雨」に伴う貨物列車運転状況および 代行輸送の実施状況等について（7月18日13時現在）

この度の「平成30年7月豪雨」により、お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また被災された皆さま方にお見舞い申し上げます。

この豪雨の影響により、現在も山陽線等の一部区間において、貨物列車の運転ができない状態となっており、ご利用の皆様にはご迷惑をお掛けしておりますことをお詫び申し上げます。JR旅客会社による復旧作業の実施により、不通であった一部区間においては運転を再開し、それに合わせて貨物列車が運転できない区間も縮小しており、また先週よりトラック・船舶による代行輸送も開始しております。

現在の貨物列車の運転区間ならびに代行輸送区間は下記のとおりですが、今後もJR旅客会社等と連携し、様々な手段により輸送力を拡充していくとともに、復旧作業を進めてまいります。

### 1. 貨物列車運転状況等

#### （1）主な列車運転見合わせ区間（貨物列車関係区間のみ）

- 山陽線 三原（広島県）・海田市（広島県）間  
柳井・徳山（山口県内）間
- 伯備線 豪溪（岡山県）・上石見（鳥取県）間
- 予讃線 本山・観音寺（香川県内）間

※ 詳しくは弊社ホームページ「現在の輸送状況」並びに、各JR旅客会社のホームページを御覧下さい。

#### （2）貨物列車運転中止区間

- 東福山駅（広島県）・新南陽駅（山口県）間（221.5km）
- 倉敷駅（岡山県）・伯耆大山駅（鳥取県）間（138.4km）
- 宇多津駅（香川県）・松山駅（愛媛県）間（168.5km）

#### （3）貨物列車運転状況

東福山駅（広島県）以東の駅を始終着とする列車については通常どおり運転しています。また新南陽駅（山口県）以西の区間については、福岡貨物ターミナル駅（福岡県）と同駅との間に貨物列車を1往復運転し、一部の輸送力を確保しています。

※ 詳細な運転状況については、弊社ホームページ「現在の輸送状況」を御覧下さい。

### 2. トラック・船舶により代行輸送の実施状況等（別紙参照）

当面の間は、現在各駅で滞っている貨物の輸送が優先となりますが、下記代行輸送を実施し、その前後で貨物列車と接続することで、全国各地への輸送が可能となります。

#### （1）トラックによる代行輸送

- 岡山貨物ターミナル駅（岡山市）・広島貨物ターミナル駅（広島市）間
- 広島貨物ターミナル駅（広島市）・北九州貨物ターミナル駅（北九州市）間
- 広島貨物ターミナル駅（広島市）・福岡貨物ターミナル駅（福岡市）間
- 岡山貨物ターミナル駅（岡山市）・新南陽駅（山口県）間

※ 下線部は準備出来次第開始

## (2) 船舶による代行輸送

- 北九州貨物ターミナル駅（北九州市）・東水島駅（岡山県）間  
（北九州港（北九州市）・岡山港（岡山市）間船舶）

※ 7/18 より開始、日祝を除き毎日1便出航予定。

- 福岡貨物ターミナル駅（福岡市）・百済貨物ターミナル駅（大阪市）  
（博多港（福岡市）・大阪港（大阪市）間船舶）

※ 7/12 より一部開始、7/17 より日祝を除き毎日1便出航予定。（7/18 は大阪港発なし）

## (3) 代行輸送対象貨物等

- 代行輸送を実施する貨物については、現在各駅で滞っている貨物を優先し、その後新たな貨物の輸送を行っていきます。
- 危険品等については、輸送区間に制限がある場合があります。

## 3. 今後について

### (1) 運転再開の目途について

現在も運転を見合わせている区間については、設備を保有しているJR旅客会社の復旧作業の状況を勘案し、今後運転再開の検討を行っていきませんが、その被害状況が甚大であることから復旧作業終了の目途はたっておりません。その見込みが判明次第、お知らせ致します。

### (2) 迂回輸送の検討について

更なる輸送力の確保を目的として、不通区間を迂回して貨物列車を運行する検討を進めています。運転区間、開始時期、輸送力等の詳細については決定次第お知らせ致します。

# 「平成30年7月豪雨」に伴う貨物列車運転状況等について(7月18日(水)時点)

—— 運転可能区間

..... 不通区間



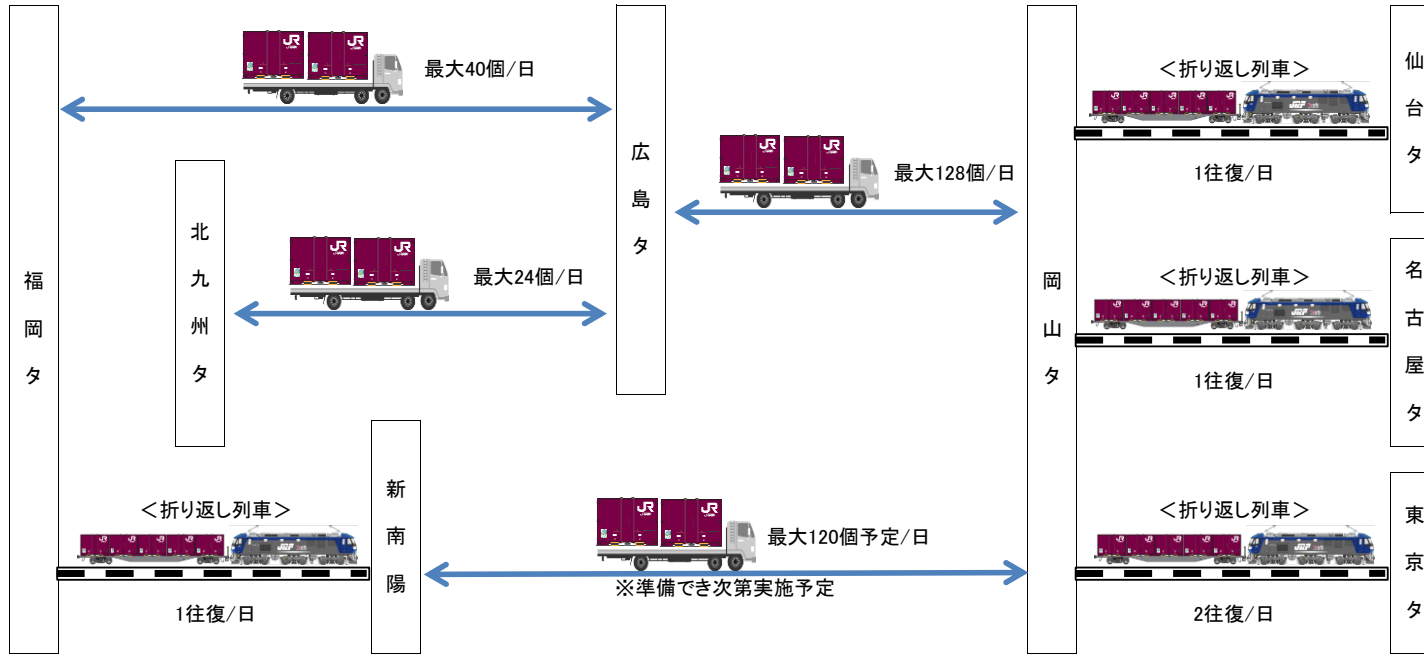
**×** : 1カ月以上の不通が見込まれている区間

※(夕)は「貨物ターミナル」の略

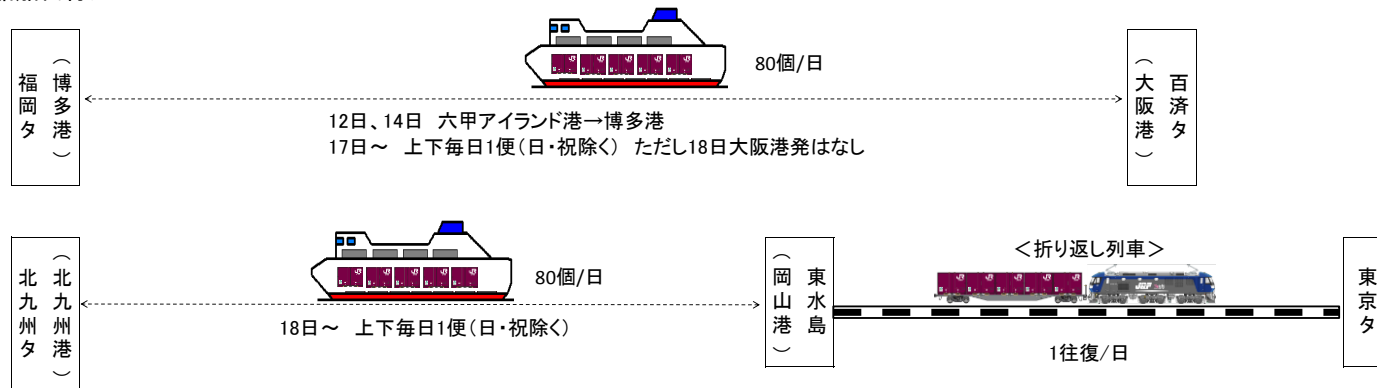
(貨物列車の運転が可能な区間)  
・東福山・高松(夕) 以東  
・新南陽 以西

「平成30年7月豪雨」の影響による代行輸送  
(2018年(平成30年)7月18日現在)

<トラック代行>



<船舶代行>



- ※ 当面の間は各駅で滞っている貨物の輸送が優先となります。
- ※ 「タ」は「貨物ターミナル駅」の略
- ※ 個数は使用する船舶によって変わることがあります。
- ※ トラック、船舶の代行区間に記載されている数値は片道の輸送力となります。

現在確保している代行輸送力  
広島タ以東 最大408個/日  
広島タ以西 最大344個/日